14渡桑乾（賈島）

　㆓＊ 　㆒　　賈　島

①客㆓— ＊　㆒　　□

帰　心　日　夜　㆓ 　㆒

＊㆑ 　　　 桑　　水

＊　㆓幷　㆒③　故　郷

　 （『唐詩選』）

＊語注

＊桑乾…。山西省北部から、北京市の西方を流れ、に注ぐ川。

＊幷州…現在の山西省市の一帯。

＊咸陽…ここでは長安をさす。

＊無端…はからずも。

＊却…ふりかえって。

問１　―線部①について、

　⑴返り点にしたがって書き下し文に改めよ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　⑵ここでの「客」と同じ意味を含む熟語を次から選び、記号を○で囲め。

　ア　客観　　イ　客人

　ウ　客死　　エ　論客

問２　―線部②･③の読みをひらがなで答えよ。

②＝〔　　　　　　〕に 　 ③＝〔　　　　〕れ

問３　□を補うのに最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　日　　イ　月　 ウ　霜　　エ　雪

問４　作者はどこへ帰りたがっていたのか。地名を詩中から二字で抜き出して答えよ。（訓点は不要。）

〔　　 　　〕

問５　上の詩とほぼ同じ内容の俳句を次から選び、記号を○で囲め。

ア　秋とせつて江戸をさす故郷　　　松尾

イ　故郷のに似たるかな　　　　 与謝

ウ　やよるもさはるもの花　　　　小林

エ　はまで人をさしにけり　　　　　 〃

【解答】

問１　⑴幷州に客舎して

　　　⑵ウ

問２　②＝すで〔に〕　③＝こ〔れ〕

問３　ウ

問４　咸陽

問５　ア

書き下し文　桑乾を渡る／幷州に客舎して已に十霜／帰心日夜咸陽を憶ふ／端無くも更に渡る桑乾の水／却つて幷州を望めば是れ故郷

現代語訳　〔桑乾河を渡り、幷州をあとにする思いを述べる詩〕幷州に仮住まいしてもう十年／（都に）帰りたいと思う心で明けても暮れても長安を思い続けてきた／（けれど今、）はからずもまた桑乾河を渡って（更に北にゆくこととなり、ますます長安から遠ざかる）／振り返って幷州の町を眺めれば、今はここが実の故郷のように（懐かしく）思われるのである。